

広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004

印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口

人口	9,411人	(減12)
男	4,497人	(減5)
女	4,914人	(減7)
世帯数	2,942世帯	(減5)

出生	10人	転入	21人
死亡	9人	転出	34人
(53年9月末日現在)			

() 内は前月との増減



(威勢よく町にくり出す山笠・稻荷町通り)

53年

11月

№190号

本山笠 3台	<h2>秋の祭典</h2>	子供樽神輿 4台
<h3>——町統一秋祭り——</h3>		

ワッショイ!ワッショイ!ハッピーにハチマキの青年や子供たちを先頭に、色彩豊かな山笠を威勢よく町にくり出す。赤池町統一秋祭りが9・10日の両日行われた。9日はあいにくの雨もようでも山笠も静かに休眠。10日はぬけるような青い空の下で、各地区から出された山笠や神輿の笛や太鼓の競演会が町民会館前で勇ましく行われ、秋空に響きわたった。山笠は、10支所(上の原)、15支所(伏原)、町営伏原。子供樽神輿は、11支所、18支所、19支所、22・23支所合同。

議会だより 町立病院事業・水道事業決算 補正予算・条例の制定など12議案を可決

九月定例町議会

九月定例町議会は、二十七日(水)にひらかれ、一般会計補正予算案など十二議案が上程され審議のうえ、原案どおり可決された。議事案件は、次のとおり……

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

昭和五十二年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算の認定

措置をはかるもので条例を制定しました。

赤池町隣保館設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定

大浦隣保館の新築により位置の変更に伴ない条例の一部を改正しました。

赤池町水道条例の一部を改正する条例の制定

水道料金の改定に伴ない条例の一部を改正しました。

町民ぐるみで「お祝いを」

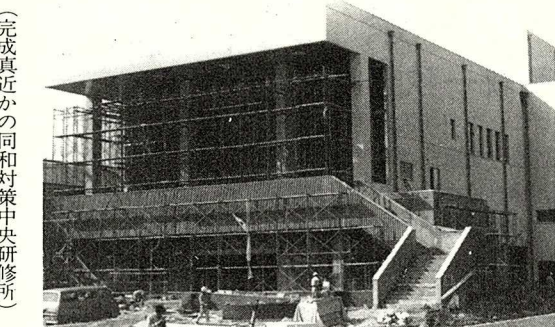
町制40周年施行 町同和对策中央研修所落成 記念式典

11月26日

本町では今年で町制施行四十周年を迎えるにあたり、町同和对策中央研修所落成のお祝いを兼ねて、二十六日(日)、新設の中央研修所で記念式典を開く。

同日は、昭和十四年十一月三日町制を施行、赤池町となった。町同和对策中央研修所は町々民会館横に建設されており、鉄筋コンクリート一部三階建の千五百

二十一平方メートル。一階は事務室、会議室、講習会室、和室、相談室、図書室兼視聴覚室、歴史資料室、二階は七百七十五平方メートルの大ホール(ステージ付・収容人員五百人)のほか、一部二階の映写室と多目的な近代研修所で、総工費約二億七千万円。



(完成直近かの同和对策中央研修所)

町民文化祭 2日(木) 午前9時開会式、展示会、バザー 3日(金) 吟詠大会、バザー 4日(土) 展示会、午後12時閉会式



(四保育所5歳児によるアトラクション)

町内在住 最高令者 世良馬吉さん (97歳)

町敬老会・10月15日に

十月十五日(日)、午前十一時より赤池町民会館において町敬老会が行われました。

今年の敬老会該当者は、全体で八百四十五人(男三百五十七人、

70〜79歳 六百三十一人 80〜87歳 百九十九人 88歳以上 十五人 合計 八百四十五人 (男三百五十七人・女四八十八人)



(昼食をしながらアトラクションを楽しむお年よりたち)

☆ 今月のこよみと行事

- 和名 霜月(しもつき) 霜がしきりに降るので、霜降月それを略して霜月という。 1日(水) 心配ごと相談日(セライ) 燈台記念日・自衛隊記念日 2日(木) 町文化祭(4日まで) 文化の日 3日(金) ユネスコ憲章記念日 4日(土) 心配ごと相談日(セライ) 7日(火) 心配ごと相談日(セライ) 8日(水) 立冬 9日(木) 太陽暦採用記念日 技能の日 10日(金) 世界平和記念日 11日(土) 第五回町少年剣道大会 12日(日) 七五三祝 15日(水) 心配ごと相談日(セライ) 17日(金) 心配ごと相談日(セライ) 19日(日) 農協記念日 勤労感謝の日 23日(水) 新穀感謝祭 26日(日) 町制施行四十周年並びに町同和对策中央研修所新築落成記念式典 秋の全国火災予防運動 心配ごと相談日(セライ) 27日(月) 心配ごと相談日(セライ)

▼もう一ぺんの勇気と努力▲

【東軍】

点	0	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
安	1	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
打	3	5	4	4	3	4	2	1	1	0	1	2	1	1	1	1	0
原	井	藤	川	田	本	永	備	原	野	川	(山)	花	府	田			
清	藤	伊	中	大	山	徳	木	久	上	惣	池	立	別	山			
計																	
計	33	12	9														

【西軍】

点	1	1	1	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
安	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
打	2	3	3	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
田	村	吉	岡	留	原	寺	保	野	安	田	本	留	田				
池	木	深	黒	水	有	水	鶴	藤	小	大	中	富	藤	坂	鶴		
計	27	10	11														

【投手成績】

失	5	3	2	2	2	1											
打	8	9	11	12	5												
回	1	1	2	3	1												
原	野	川	府	田													
久	上	惣	別	大	内												
計	3	2	2	1													
原	保	田	見														
藤	大	藤	深														

オールスター戦 東軍が打ち勝つ

総合グラウンド落成記念行事

最高殊勲選手に黒土一弘選手

待望の赤池町総合グラウンドがオープンした。十月八日、池永町長の始球式でスポーツ少年団野球部の対頼田ライオンズ戦でオープニング。続いて町民野球連盟のオールスター東西戦と、錦旗を飾る落成記念行事が華やかにくりひろげられた。

赤池、頼田町に苦敗

【少年野球部交歓試合】
頼田ライオンズ 21801
赤池クラブ 00010
(投) 繁水貴仁、大穂浩美(捕)

栄えの個人表彰

【勝利監督賞】
亀谷 俊政(バアーバーズ)

最高殊勲選手 黒土 一弘(赤池ガッツ)

最優秀投手賞 藤原 武司(赤池町役場)

打撃賞 鶴留 明(Fダックス)

敢闘賞 木村 洋三(赤池ガッツ)

伊藤 信幸(ファミリーズ)

【選手】
藤原選手 黒土選手 鶴留選手 木村選手 伊藤選手



赤池町総合グラウンド落成記念会場

分の池永町長が快速球で始球式。

グラウンドの使用規則

十月八日にオープンした総合グラウンド(野球場、陸上競技場)の使用規則が、町の各種団体の数にわたる会議を経て、十月二十三日の教育委員会で決定した。

町民最優先使用を原則とした管理運営方針を基調に、使用者の自主整備を厳しく盛り込んだ規則の主な内容は次のとおり。

- ① 試合は、守備の乱れをつかれた赤池が、頼田町の猛攻の前に大量点を許し、居原監督の作戦功を奏さず。スタンドの応援もむなしく、晴れの舞台で苦杯を喫した。
- 【連盟オールスター東西対抗戦】
東軍 3000062013
西軍 2312220001 13 15
- ② 陸上競技場 二時間五百円。ただし、①、②いずれも町民諸団体の使用は八割の減免とする。
- ③ 球場内での喫煙、飲食は禁止。喫煙は所定の赤バケツ内へ。
- ④ 使用後は、必ず備え付けの用具で、次の使用に支障のないように整備を行う。

第2回町民野球 新球場で大熱戦

16、17支所 山田政則選手、快心の一撃(8支所対16、17支所戦より)



五チームが勝ち残る 優勝のゆくえ混とん

第二回町民野球大会が新装なった総合G球場で開幕した。この大会に各地区公民館から精鋭15チームが参加、十月二十二日、二十九日の二日間に十試合が消化された。とくに今回から正規の球場とあって、出場選手もハッスル。プロ野球なみの超美技が随所にみられ、スタンドの拍手をあげた。

二十九日の残り試合は雨天のため十一月五日に順延されたが、優勝の栄冠は七支所、九、十支所、十四支所、十六、十七支所、十八支所の五チームで争われる。

- 【一回戦】
- ① 七支所 7-6 二十一支所
 - ② 十九支所 5-0 十三支所
 - ③ 十四支所 3-2 二十支所
- 【二回戦】
- ① 七支所 3-2 十九支所
 - ② 十四支所 2-1 十二支所
 - ③ 十六、十七支所 2-0 八支所

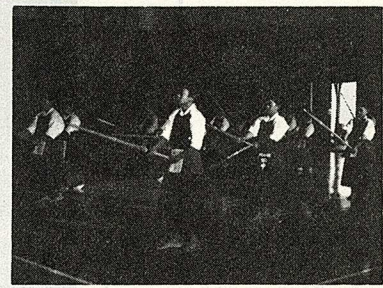
僕の提言



守れ、公衆道徳
中一 早川 誠

大人はする。僕達とともに、あせよ、こうせよと社会生活のしつけを厳しく押しつけるが、大人の公徳心はどこにあるのだろうか。煙草の吸いがら九百六十八本、マッチの燃えがす六十一本、地球は灰皿ではない。

十月二十二日、新装の町民球場観覧席で、こども心に気付いたこと。しつけを厳しく押しつけるが、大人の公徳心はどこにあるのだろうか。煙草の吸いがら九百六十八本、マッチの燃えがす六十一本、地球は灰皿ではない。



昇級審査、真剣な少年剣士たち

田中淳くんが準八級

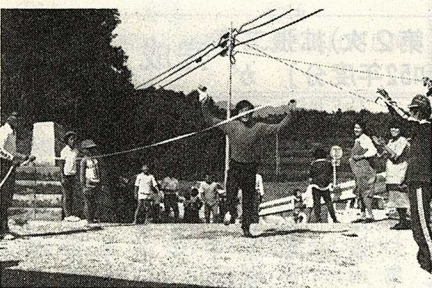
剣道少年部の昇級審査会
十月七日、剣道少年部の昇級審査会が町民会館で行われ、準一級の中学生から年少者の九段まで45人の剣士全員が昇級した。なかでも剣道部最年少の田中淳くん(十六支所)が、日頃の鍛錬がみのり準八級に昇級したのがひかかった。



各地区のスポーツ行事

秋祭り四区オリンピック
父ちゃんがカンツケ、母ちゃんはシャモジをパトンに、4・2歳を走破する駅伝がメーン。秋祭りの十月九、十日の両日、上野四区(香月昌憲館長)の『オリンピック』が賑やかに行われた。九月十六日から四度も会議を重ね、書道、生花、絵画等の展示会から、バド

大浦はソフトボール
大浦地区公民館小松春雄館長も十月十日、大浦Gで各組対抗のソフトボール大会。この日は、出場選手や応援の人たちのファイトが夜来の秋雨をシャットアウト、絶好の秋晴れが大会を祝福した。試合はまず一、二組一、二組でプレイボール。各試合共始終好ゲームが展開されたが、攻守にま



太田万亀雄選手ゴールイン(上野四区オリンピック)

猿田は第8回運動会
十月十日は体育の日。お神輿はなくてもスポーツで秋祭りをと猿田地区(大久保啄鷹館長)では第八回の運動会を開催した。この日、会場の公民館広場に集まった選手は総勢百十二人。新興の朝日台団地からも十七人が参加して、秋晴れの一日を楽しんだ。競技は午前九時半からはじまり、まず準備体操。白マスクの味、草競馬、ラムネ飲み、さらには『食欲の秋』が圧巻。午前中の最後は全員が炭焼節でしめくくった。

今月の行事

- 12、19日 連盟野球大会(総合G)
- 12日 赤池町少年剣道大会(会館)
- 26日 第11回町民バレー大会